

## ラパポートブイオン(RAPPAPORT-T)

Enrichment broth for *Salmonella* spp.

サルモネラ用増菌培地

### 概要

本培地は糞便検体中の *Salmonella* spp. の増菌を目的として使用されます(2)。

### 原理

本培地は、腸内細菌中の *Salmonella* spp. の発育を促進するように調製されています。本培地を用いた増菌を行った後、サブカルチャーを実施して下さい。

### 構成

42091	試験管培地	20 本(9mL)
-------	-------	-----------

### 組成(g/L)

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：

カゼインペプトン(ウシ) .....	4.3g
酵母エキス .....	1.6g
塩化ナトリウム .....	7g
リン酸カリウム .....	0.78g
リン酸二ナトリウム .....	0.26g
塩化マグネシウム .....	30g
マラカイトグリーン .....	0.1g
精製水 .....	1L

pH5.5

### 必要な器材および試薬

#### 試薬

- サルモネラ・シゲラ寒天培地(品番 43091、51043)
- ヘクトエン エンテリック寒天培地(品番 43111、51050)
- SM ID 寒天培地(品番 43291)

#### 機材

- ふ卵器

### 使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者のみご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培地、そして検体を接種した製品は伝染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。  
安全ガイドライン：NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue, Approved Guideline – Current Revision» 操作留意事項：Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, CDC/NIH Latest Edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。

- 使用前に、フタに破損がないか確認して下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

### 保管方法

箱未開封の状態、2-8°C下で有効期限まで保管可能です。

### 検体

糞便懸濁液(滅菌生理食塩水)又は水様便を用いて本培地に直接接種します。

検体採集および輸送に関しては、GLP を遵守して下さい。

### 使用法

1. 試験管を室温に戻します。
2. 水様便を 0.1mL 直接本培地に接種します。
3. 37°Cで 24 時間培養します。  
用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。
4. 増菌培養後、糞便検体に適した培地(サルモネラ・シゲラ寒天培地、ヘクトエン エンテリック寒天培地、SM ID 寒天培地など)に接種しサルモネラを分離して下さい。
5. 37°Cで 24 時間培養します。

### 判定

- 使用した分離培地の添付文書を参照して下さい。

### 品質管理

#### プロトコール:

本培地は、下記の標準菌株を用いて試験を行います。

- *Salmonella typhimurium* ATCC® 14028
- *Escherichia coli* ATCC® 25922

#### 精度管理限界値:

菌種	サルモネラ・シゲラ寒天培地でサブカルチャー後の 33-37°Cでの試験結果
<i>Salmonella typhimurium</i> ATCC® 102321	24 時間の増菌後に発育
<i>Escherichia coli</i> ATCC® 25922	24 時間の増菌後に抑制

#### 注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度、抗菌薬の選択等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

### 留意事項

発育の度合は微生物各個体の要求性により異なります。よって、特殊な要求性を有する菌株、*Salmonella typhi* のような菌は発育しないこともありえます。

### 性能

性能は、33株(*Salmonella* spp.と他のグラム陰性菌及びグラム陽性菌)を用いて、37°Cにて評価しました。

#### 増菌:

24 時間培養した結果、試験に用いた 13 株の *Salmonella* spp.のうち、11 株において発育が観察されました。*S. typhi* と *S. newport* は、発育が観察されませんでした。

**糞便用分離培地との適合性:**

本培地で増菌した後、サルモネラ・シゲラ寒天培地、ヘクトエン  
エンテリック寒天培地、SMID 寒天培地を用いてサブカルチャー  
ー結果、13 株の *Salmonella* spp. が発育し、特徴的なコロニ  
ーを形成しました。

**選択性:**

*Salmonella* spp. 以外の 20 株は、サブカルチャーした培地の  
選択性により発育が異なります

(問い合わせ先)

製品関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

**参考文献**

1. EWING N.H. - *Edwards and Ewing's identification of enterobacteriaceae* - 4th ed. - 1986, Elsevier Science Publishing - ISBN 0-444-00981-7.
2. RAPPAPORT F., KONFORTI N., NAVON N. - A new enrichment medium for certain *Salmonella* - *J. Clin. Path.*, 1956, vol. 9, p. 261-266.
3. VAN SCHOTHORST M., RENAUD A.M. - Dynamics of *Salmonella* isolation with modified rappaport's medium (RIO) - *J. Appl. Bacteriol.*, 1983, vol. 54, p. 209-215.

注文・納期・在庫関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社






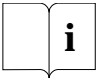

TEL: 03-6834-2666(代表)

\*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>**廃棄処理**

使用済み又は未使用にかかわらず、試薬および他の汚染廃  
棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い  
方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の  
上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの  
危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄  
してください。

**記号**

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

**バイオメリュー・ジャパン株式会社**

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>**bioMérieux SA**

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>**BIOMÉRIEUX**